

令和 7 年度 第 8 回新道区地域協議会 次第

日時：令和 7 年 11 月 25 日(火)18:00～
会場：新道地区公民館 多目的ホール

1 開会

2 議題

(1)自主的な審議

3 その他

(1) 次回開催日程について

日 時：令和 年 月 日 () 時 分～
会 場：
内 容：

(2) その他

4 閉会

(資料・配布物)

・次第

～ 地域協議会における会議の心得 5か条 ～

- その 1 自分以外の人の考えも聞きましょう (自分ばかり話さない)
- その 2 発言は簡潔にしましょう (だらだら話さない)
- その 3 建設的な話し合いをしましょう (頭から否定しない)
- その 4 話し合いやすい雰囲気を大切にしましょう (相手を責めない)
- その 5 個人の意見は平等に扱いましょう (一人の強い意見に偏らない)

自主的な審議のフレームワーク

令和7年度第8回新道地区協議会
令和7年11月25日
2議題 (1) 自主的な審議
資料

プロセス	内容	協議結果						
		①南北間の地域間交流	②誰もが通りやすい道の確保	③公共交通の不便さ	④アクセスの良さがもたらす渋滞・騒音	⑤新道地区からの眺望の良さ	⑥地域一帯が花で彩られていること	⑦新道地区のポテンシャルの高さ
課題の設定	起きているよくない現象・将来発生する可能性がある事象などを定義する。	・北部と中部・南部との人との交流が希薄。	・県道は自転車・歩行者が通りにくく、ドライバーは配慮が必要。	・電車が利用しにくい他、路線バスのアクセスが悪い。	・新道地区外からの来訪者、通行車両が多いため、交通量が多く、渋滞・騒音が発生する。	・新道地区内から見える山々等の眺望がよい。	・河川敷や中央橋、主要施設等が花で彩られている。	・市内の他地域に見られない強みが多い
原因(問題)分析	何が原因で課題が発生しているのか明確にする。現状と理想のギャップを分析する。	・県道が狭く、南北のアクセスが悪い。 ・2つの小学校区があり、交流が少ない。	・県道の道幅が狭い。 ・歩道が狭く段差も大きい。 ・雁木が凸凹していて歩行しにくい。 ・雁木があり歩行者は天候に左右されず通れ、安全も確保できる。 ・自転車の走行スペースが確保されていない。 ・雁木は民地。	・駅が遠い他、県道が狭くバスに乗降しにくい。	・高速道路、バイパスが地域内に整備されたことで、医療機関、官公庁、商業施設が設置され、あらゆる場所にアクセスがよく便利。	・関川や河川敷、バイパス、商店街、田園など、新道地区内に様々な景観がある。	・町内、市民活動団体、企業などがそれぞれ植栽活動を行っている。	・河川敷が整備されて歩きやすい、安全。 ・イベントができる規模の整備された大きな駐車場が多い。 ・道がわかりやすい。 ・東西、幹線道路、主要機関へのアクセスが良い。 ・農業と商業が融合している。
解決のための条件・方針	地域や社会情勢に合った条件や方針を整理する	・既存団体連携・交流(必要に応じて活動内容の見直し) (南)			・バイパスの活用による地域内の交通量の削減(中)		・既存団体の活動継続支援・協力(中)	
解決策の検討	考えられる解決策をできる限り挙げていき、優先順位をつける。							
解決策の実行	優先順位が高いものから実行していく。効果検証をして、効果が出ていれば継続する。期待する効果が得られない場合は、他の解決策を取り入れる。							

解決策のための協議事項 … 「解決策」を提案するにあたり、今後整理する事項 (各提案ごとに整理)

時期 (いつ)	
場所 (どこで)	
実施者 (誰が)	
対象 (誰に)	
物 (何を)	
実施方法 (どうする)	
数量 (どれくらい)	
経費 (いくら)	
その他	

青 : 委員意見
赤 : 追加項目